

つて来て居る此際風を予然加彼々来るヲだが何分他所より来た者か否とも
幾人か来た事になつて居るが今日も三時代表が来ますから何人か来るのかせうとも
一廿く行つた愛不十音項には船は一隻もなく来るか困ると思つて居るが
り仕事はなうねえ

有志

私等々の立場も困つたかも知れぬ御参考を以て申す所も丁が御伺へ京都
今日と同様何等得る所なく立歸るかも知れぬと居る等は何を以て居るのか
或る仲介者の行動を見ても居るのか一若し成功した時、所が許諾した
時は何人とする、其時君達は何人として許諾するのか。

竹内氏

直接にゆくを接して下さるかも知れぬ現正の狀態を鑑みて、金社、貯
工、野次等の立場を御考へて居る。

有志

野次も種々協議を重ねて居る事かも知れぬ。

竹内氏

私は野次の方なり交渉員をして折合はぬ事は理由があると思はれるが
反復會との野次組との及逆組との幹部が居るが此等は解決が出来

るが、知識の地味、彼の支部の事議は三日間不十分であつた、其れは幹部と目録
者或は外來の事議、関連者は野次を放逐して終つて又一步も土地の進入はな
つたのがある此の野次の方法が其れが又、早々、亮かつたかと思ひますか。

有志

御参考迄は申上りあるかも知れぬ先日も或る職工が来て言ふ吾等も或一部の
者の為め、斯く事議を繼續して居る訳が勿論其等の者は野次民諸氏の勞
を非常の期待を居るが、他の人々の言はれる事は對しては絶体屈服は出来
ないけれども、若し所方有志の言はれる事は拒はない。所謂三者の人と起つて戴くは
れが宜い其人達は冷静なる批判を下すから尚又其人達を保証人として斯く事
を防ぎたいと願つても話は進行すると思つて居ります。

笹子氏

成程、一度自分達も野次(土生)が居るけれども三庄の野次も吾々の意
見を聞いて戴いて、吾々の意見を以ては憚らざるが、何れかと思ふ諸事を
解決を進めてはとも思つて見たが仲介者(野次)は此れはいけぬ、野次は親だ
親の言ひ事を用ひぬ者が他の者の申す言はとも聽きぬといふ言ひ居た。又